

山本商運株式会社

**2026年9月度
安全運転会議**

総合保険代理店
(日新火災海上保険代理店)

株式会社 アイピー・ブレイス
大阪支社 担当 門脇



本日の予定

- ・『DVD視聴』・・・**一歩進める安全運転**
～積極的な危険回避～

全日本トラック協会 ～交差点事故撲滅キット～ より抜粋

- ・**交差点事故の重大性**
- ・**交差点事故の特徴と要因**
- ・**交差点事故を防ぐための 7 つの安全行動**

対象:ドライバー向け



一歩進める 安全運転 ~積極的な危険回避~

安全運転は交通ルールを守ることが大前提ですが、自分がルールを守っていても事故に遭うことは多々あります。しかも相手側に過失があっても、甚大な被害を受けるのは自分かもしれません。ルールを守るのはもちろんですが、事故に遭わないための『一歩進める安全運転』を目指しましょう。一歩進めるとは、積極的に危険を探し、その危険を自ら素早く回避する運転を実践することです。統計データやドライブレコーダーの映像などを交え、『一歩進める安全運転』のポイントを説明していきます。

① 他車への対応

【見通しの悪い交差点:優先側】

- 相手が一時停止を守らないと想定して減速・徐行、いつでも停止できるよう「構えブレーキ」

【見通しの悪い交差点:非優先側】

- 一時停止線の手前で必ず停止し、安全確認
- 進入口で再び停止し、見通しのきく位置まで小刻みに前進する

② 自転車への対応

【交差点での対応】

- 毎年、自転車に関与する事故の7割弱に自転車側の違反がある
- 急な進入や方向転換を想定して減速・徐行、いつでも停止できる準備をする

【直進中の対応】

- やむを得ず追い抜く時は、一気に追い抜くのではなく、ゆっくりと近づき、自転車に自車の存在を気づかせた上で自転車の動きを見ながら追い抜く

③ 歩行者への対応

【高齢者の場合】

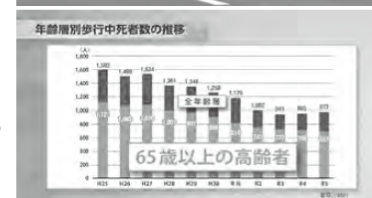
- 歩行者の死亡事故のうち、高齢者が毎年7割以上を占めている
- 速度を上げると視野が狭まるので、アクセルを過度に踏み込まない

【子どもの場合】

- 学校付近、通学路、公園出入口などでは、子どもの飛び出しを想定し、制限速度にかかわらず徐行しながら子どもを探すような運転を心がける

【横断歩道等における歩行者等の優先】

- 信号機のない横断歩道では歩行者優先の運転を徹底する



④ リスクが高い道路での運転

ここでは①～③で学んだことを踏まえ、リスクが高い道路にて『一歩進める安全運転』を実践します。



自車に接近の可能性があるもの(見えているもの)を探す



自車から見えないもの(死角)を探す



繰り返し確認し、変化を探す

一歩進める 安全運転 ~積極的な危険回避~

事故に遭わない 運転とは?



監修

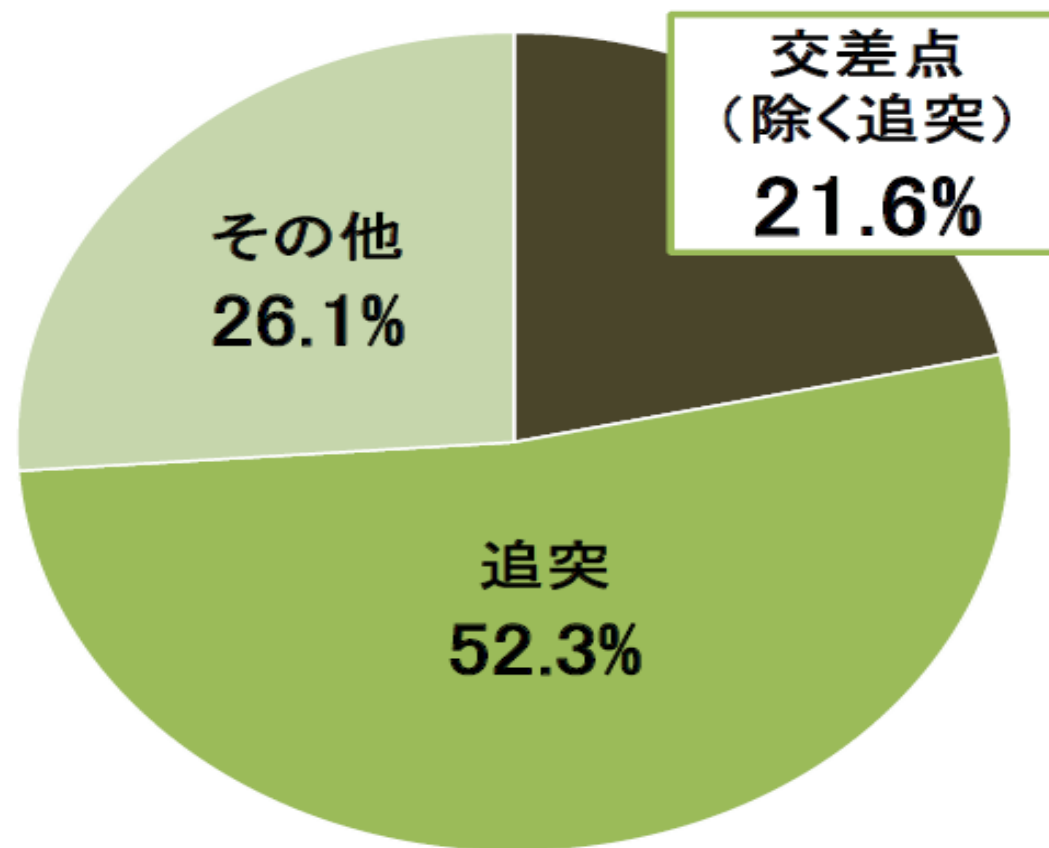
東京海上ディーアル株式会社
主席研究員
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科
特任准教授

北村 憲康

- 人身事故のうち、交差点での死傷事故は全体の約2割。
- 追突事故に次いで多く発生。

<年間の死傷事故発生件数>

14,600件のうち
3,150件



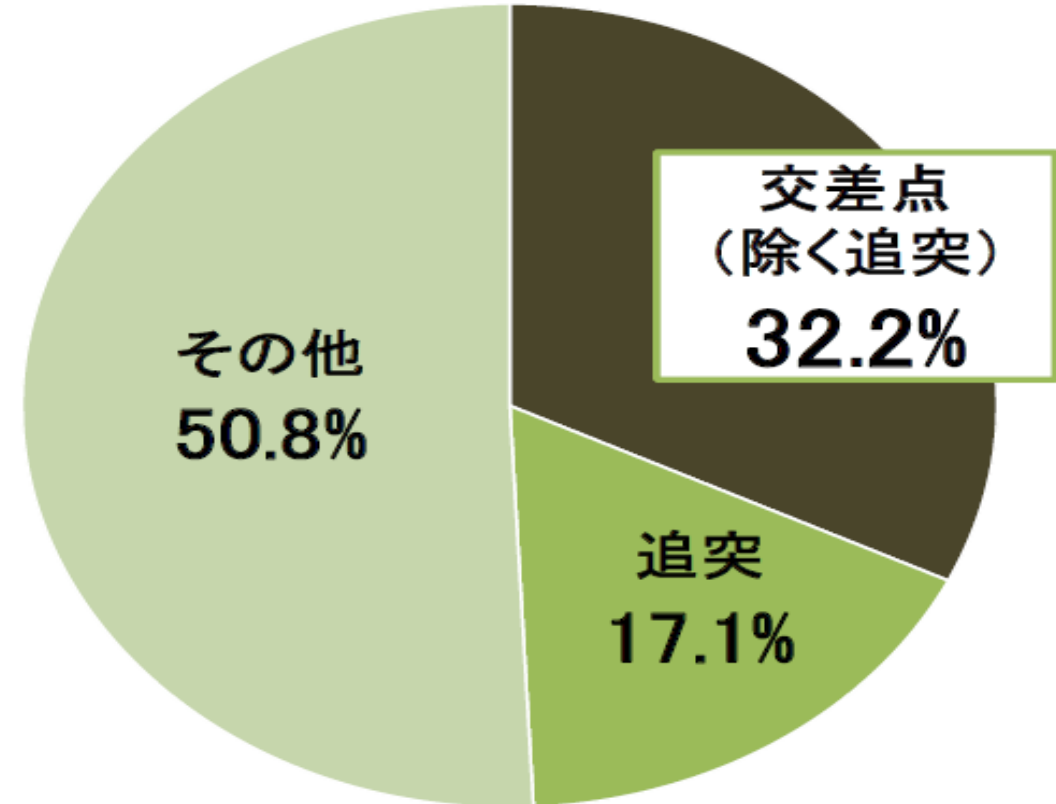
交差点事故の重大性

トラックが第一当事者となる死傷事故に占める、交差点事故の割合は？

- 人身事故のうち、交差点での死亡事故は全体の約3割。
- 追突事故よりも多く発生。

＜年間の死亡事故発生件数＞

258件のうち
83件

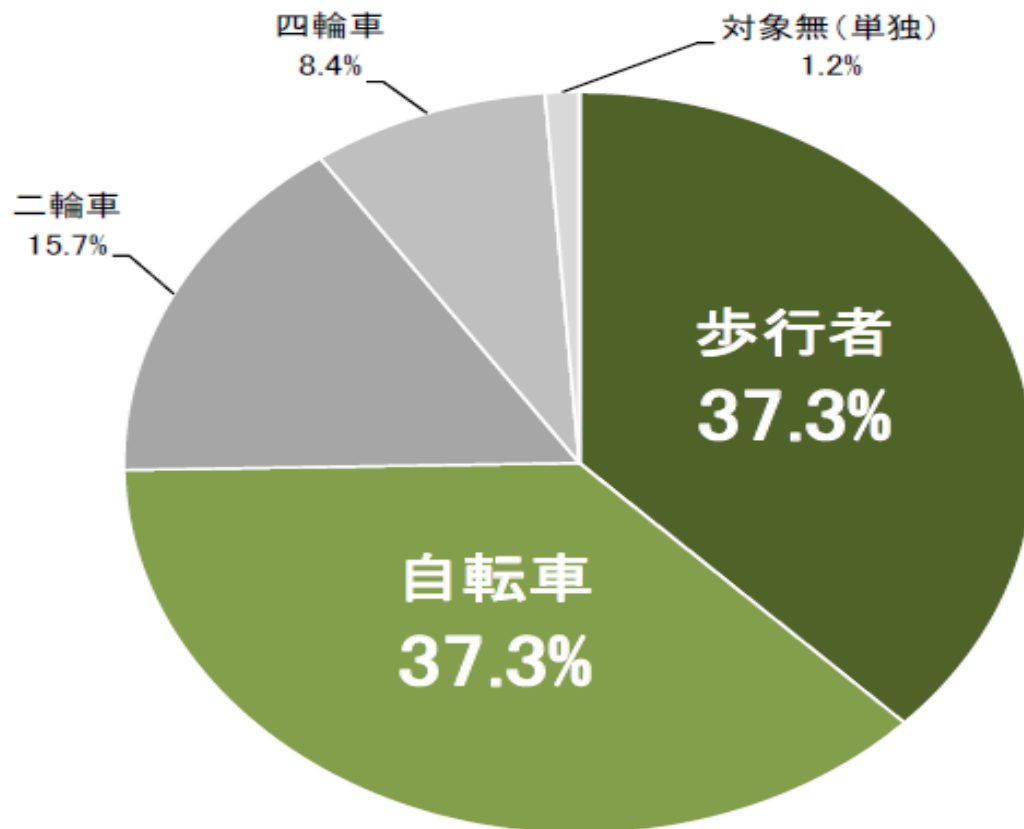


交差点事故の重大性

トラックが第一当事者となる**死亡事故に占める、交差点事故の割合は？**

■ 相手が歩行者・自転車となる事故が3／4。

＜交差点における第二当事者別の死亡事故件数(除く追突)＞

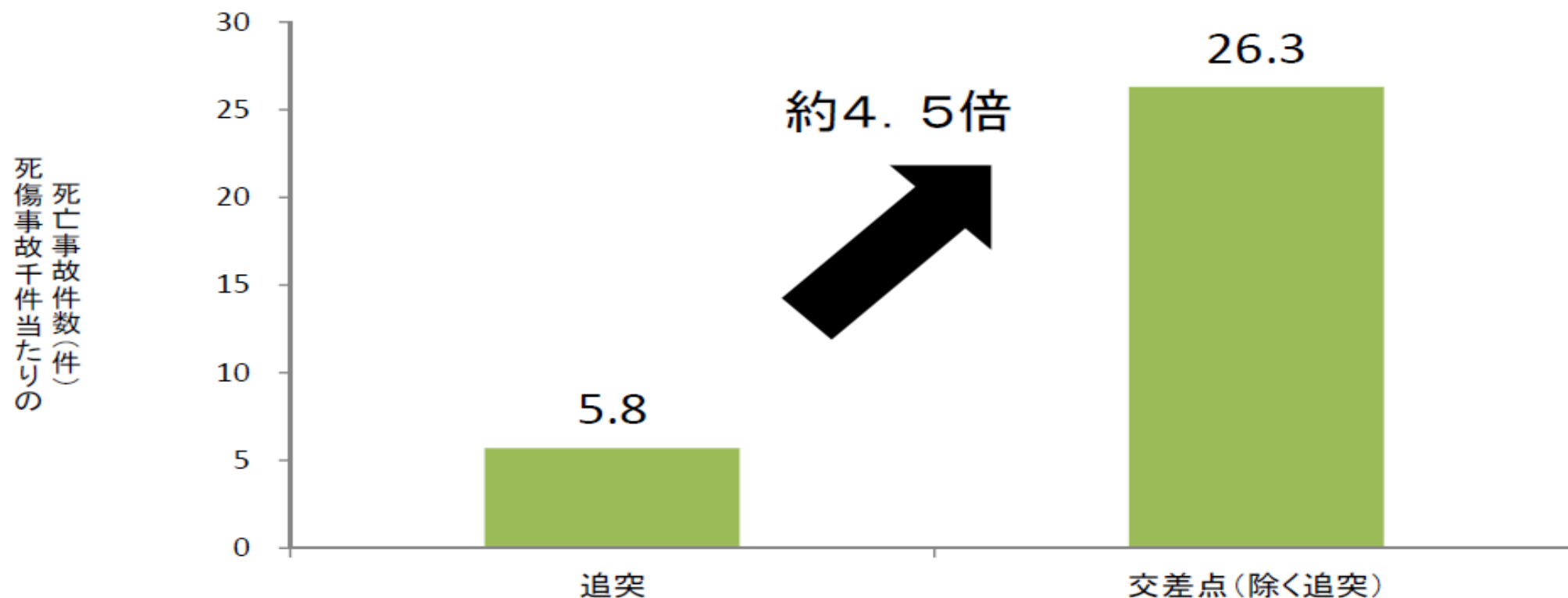


交差点事故の重大性

交差点では、**どんな相手と事故を起こしている？**

■ トラックの交差点事故は、追突事故の約4.5倍、死亡事故につながる。

＜追突事故と交差点事故（除く追突）別の死亡事故の起こりやすさ＞



交差点事故の重大性

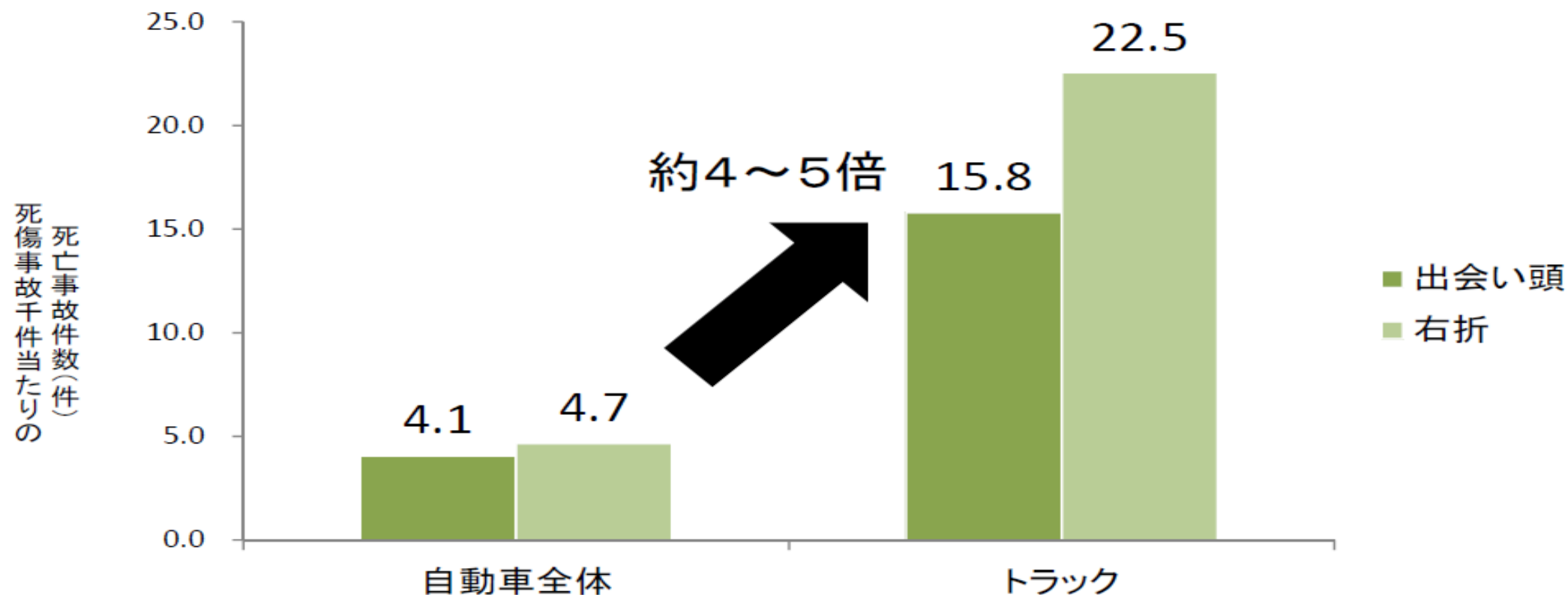
追突事故と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？

(死亡事故の起こりやすさは？)

■ 「出会い頭」「右折」の人身事故*に着目すると、トラックは自動車全体に比べ約4～5倍、死亡事故につながる。

*交差点で発生していることが多いと考えられる「出会い頭」「右折」の事故を対象に分析。

＜自動車全体とトラックにおける死亡事故の起こりやすさ＞



【出典】 事業用自動車の交通事故統計(平成27年版)(公益財団法人交通事故総合分析センター)

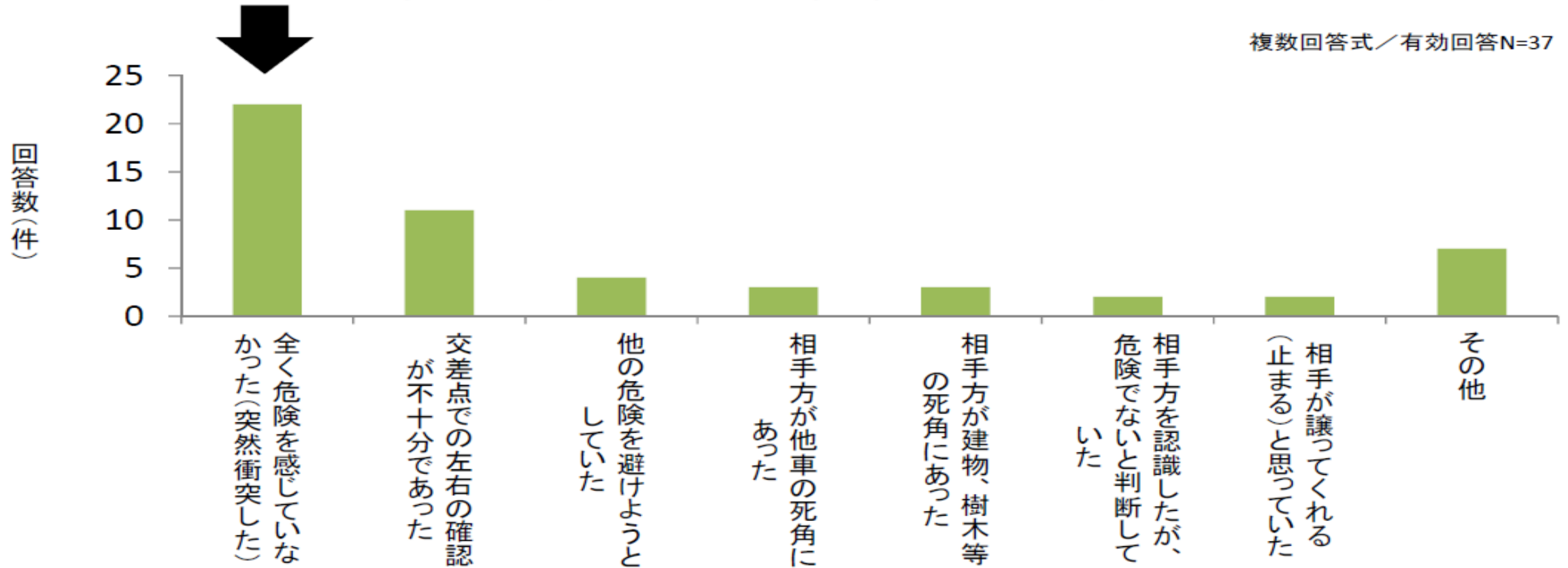
交差点事故の重大性

自動車全体と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？

- ドライバーの事故直前の状況認識について、全く危険を感じていないケースが最も多い。
- 背景には、安全確認の時間を取っていない、毎回同じルートを通ることによる慣れ、疲労にともなう認知力の低下といった要因があると考えられる。

＜事業用自動車における重大事故直前の状況認識＞

複数回答式／有効回答N=37



【出典】 平成25年又は26年に発生したトラックの重大事故に係るデータ集計結果（国土交通省自動車局・公益社団法人全日本トラック協会）

交差点事故の特徴と要因
事故はどうして発生するの？ 直前の状況は？

〈人身事故の直接的要因〉

■ 認知エラーが主な直接的要因

- トラックの人身事故の直接的要因は、安全確認不足に代表される認知の段階の要因が中心である。

■ 直前まで気づいていない

- 相手方の（急な）動向が把握できていない状況がほとんどである。

■ 低速域で起きている

- 危険の対象が多い交差点において、速度を落とし切れしていないケースが多く、認知のため時間が不足していると考えられる。

〈人身事故の直接的対策〉 【取り組む安全行動】

■ （認知のために）環境整備する

- 交差点に入る前に速度を十分に落とす。場合によっては、徐行、一時停止する。
- 車両特性上死角が多いため、適切な視界を確保する。
- 疲労等は認知力低下につながることから、適度な緊張感を持ち自己管理する。

■ 適切に認知する

- 危険の対象を知ること、どこに対して優先的に安全確認をすればよいかを身につける。
- 複数の対象に対して同時に安全確認をすることは難しい。重要な安全行動と流れを身につけ、習慣付ける。

交差点事故の特徴と要因
事故はどうして発生するの？（直接要因のまとめ）

事前の環境整備

① 整理・整頓して視界を確保する

② 適度な緊張感を持ち自己管理する

③ 事故リスクの少ないルートを走行する

交差点進入前の
構え

④ ブレーキペダルに足をおき危険に備える

交差点進入前の
認知

⑤ 交差点進入前に安全確認する

交差点進入前～
交差点内の構え

⑥ 適切な軌跡で右折する・左折する

交差点内の認知

⑦ 交差点内（特に横断歩道手前）で安全確認する

交差点事故を防ぐための7つの安全行動